

はっ しゅう こう げん 榛東村八州高原にソフトバンクの メガソーラー発電所を 誘致しました

～再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始される7月1日の運転開始を目指します～

我が国は東日本大震災による地震や津波の被害により、福島第一原子力発電所の事故という未曾有の事態を経験しました。村でも避難される方の受け入れなど、できる支援を模索してきましたが、あれから1年、代替エネルギーとしての自然エネルギーの普及推進に取り組みことといたしました。

3月5日(月)、ソフトバンクグループで自然エネルギー事業を行うSBエナジー株式会社(以下「SB社」という。)と、榛東村八州高原の村所有地においてメガソーラー発電所を建設することに合意しました。また、3月13日(火)にはSB社取締役副社長の藤井宏明氏(表紙写真右から2番目)を招き、メガソーラー建設合意調印式が行われました。これは、SB社が右記のメガソーラー発電施設を建設し、発電した電力を東京電力に売電し、その収入の一部を地代として村に納める

建設予定のメガソーラー発電所概要

所在地	榛東村八州高原内の村所有地
敷地面積	最大49,300㎡(調整中)
出力規模	約2.4MW(約2,400kW)
年間発電量	約268万kWh/年 一般家庭約640世帯分の年間電力消費量に相当
EPC事業者	シャープ株式会社
土木施工	株式会社佐藤建設工業
運転開始予定	2012年7月1日

という協定に基本同意したことになりました。

この事業は、復興支援に加え、村の貴重な自主財源と、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギー推進の一翼を担うこととなります。

阿久澤村長は、「誘致でき、多くの人に感謝している。建設を予定している八州高原は、標高約1,000mで関八州を見渡せる自然の宝庫であり、地域づくり・村づくりにも活かして、7月1日の運転開始に向けてやっていきたい。」と決意を語りました。

藤井副社長は、「震災以降、インフラの復旧を目指してきた。福島の事故は、日本のエネルギー政策の見直しにつながった。弊社は、インターネットや通信を扱う会社だが、(震災で電力ストップとなり基地局がダウンして、被災者の皆さんなどが携帯での連絡が取れなく



整地の終わった建設予定地

「榛東村メガソーラープロジェクトサポーター」の募集について

村では、SBエナジー株式会社が推進する自然エネルギーの普及推進役として、メガソーラー発電所を八州高原に誘致いたしました。そこで、メガソーラーエンジニアリングのプロフェッショナルや、自然エネルギーについての視察ガイド・標高1,000mにおける自然の宝庫を利用した高地トレーニングのスポーツトレーナー・新たなお土産の開発(お土産Bank)・除草や木々の剪定・樹木の名前看板・庶務受付など、多様なボランティアの方を募集いたします。皆さまのお知恵や創意工夫次第では、有償ボランティアにつながる場合も想定しています。榛東メガソーラープロジェクトについてふるってご応募ください。サポーターの活動に賛同される皆さんの「社会貢献の場」、「学びの場」として、さまざまな活動に直接参画していただきたいと考えています。どのような分野に、どのような形で参画するかについては、ひとそれぞれです。ご自身の興味ある分野に取り組みながら、いろいろな関わり方が可能ですので、まずは総務課自然エネルギー推進対策室まで気軽にお問い合わせください。

【通称：ソフトバンクプロジェクト】

○申込み方法 サポーターを希望される方は、申込用紙を用意しておりますので、来庁いただくか、①氏名②電話番号③住所④特技⑤ご自慢のお土産の名称・単価⑥榛東村メガソーラープロジェクトに対するご意見を、電話・FAX・メール・郵送にてご連絡ください。こちらから申込用紙を送らせていただきます。

※個人情報に関しては、サポーターの運営以外の目的では一切使用しません。

■TEL 54-2211(内線253) ■FAX 54-8225 ■MAIL west@vill.shinto.gunma.jp
〒370-3593 榛東村新井790-1 榛東村役場 総務課 自然エネルギー推進対策室

メガソーラー発電所誘致までの経過概要一覧

年月日	村側	ソフトバンク社側
11/3/11		東日本大震災発生(福島第一原発事故発生)
5/25	原発代替エネルギー施設誘致の可能性について特命調査研究を発令	自然エネルギー協議会設立方針決定公表
27	ソフトバンク社社長室との直接交渉開始(窓口:肥田直人氏)	自然エネルギー協議会への都道府県参加を呼びかけ
31	群馬県科学技術振興室へ村長挨拶	メガソーラー候補地の公募依頼を都道府県に行なう
6/6	議会にて、村長、ソ社のメガソーラー発電所誘致を説明	
21	村議会誘致決議を可決	
26	県募集のメガソーラー発電所20MW候補地として資料提出。併せて大澤知事へ誘致に関する要望書を提出	このころ、全国約250カ所の候補地の応募情報が都道府県を通じて共有される
7/11	ソ社社長室へ、副村長・議会全議員・担当で汐留本社へ表敬訪問。東京電力川崎市内メガソーラー発電所を視察研修	8月中旬を目処に候補地の現地調査を開始したい旨のご発言をいただく
8/1	「特命政策ソフトバンク社メガソーラー担当」を兼務で任命	現地調査を開始され、榛東の調査には、8月中は困難とのこと
9/12	自然エネルギー財団設立イベントへ担当出席	
26	東京電力渋川支社との電力連携協議を即座に申し入れる	発電電力の売電連携ポイントが遠すぎて一端20MWの候補地から外れるが、2MW候補地の可能性を言及いただく
10/6		100%ソフトバンク子会社SBエナジー株式会社設立(以下、SB社)
7	東電渋川支社との第1回連携協議	
17	東電渋川へメガソーラー連携配電線調査依頼	14 日照データ調査等を本村へ依頼
24	SB社依頼の日照データ調査結果回答	
11/25	SB社現地調査受け入れ、県・東電渋川支社を交え第1回自然エネルギー開発協議	SB社肥田氏、2MWクラス開発現地調査のため来村。50,000m ² の一回の水平用地が必須であることを明らかにされる
30~4~	村長陣頭指揮し、現地測量複数回実施も面積確保難	
12~	候補地の現地詳細調査を実施	
22	最終現地調査を実施し、誘致断念を決断か(株)佐藤建設工業・国土地図(株)全面的協力で用地確保の見込みとなる	この間、通信機器等で本村の情報提供を行うとともに、自然エネルギーについて情報共有される
27	議会、造成実施承認	
28	SB社へ用地確保見込みの旨メール連絡	
12/1/10		北海道試験場より、本村での発電所建設の可能性が高くなったことの一報をいただく(本格協議へ)
13	村長・担当SB本社へ用地確保の報告	
14	(株)佐藤建設工業造成工事安全祈願祭	
2/1	自然エネルギー推進対策室を設置。上記担当者を専任に配置	
2/2	第2回自然エネルギー開発協議	SB社肥田氏ほか、現地調整のため来村
20	職員より修景美化作業を実施 サツキ植栽。ペンキ塗装	
21	第3回自然エネルギー開発協議	SB社肥田氏、技術部マネージャーほか、現場協議のため来村
28		SB社肥田氏、県へ工場立地申請協議
29	造成工事完工	
3/5	誘致決定発表 緊急議会等・住民説明会(参加38名)	国内第1号案件として、本村との建設合意を発表
6	建設合意を単独記者会見	
10	自然エネルギー財団2012イベント職員多数参加	11 報道ステーションで孫社長本村用地を紹介。3.11を追悼
13	建設合意協定調印式並びに記者会見 SB社取締役副社長藤井宏明氏、肥田氏来村	
21	第1回八州高原メガソーラー発電所建設協議	SB社肥田氏、技術部マネージャー来村
23	議会・農委・区長会事業実施説明会(参加54名)	SB社事業部長、肥田氏、技術部マネージャー、シャープ社佐藤副本部長ほか多数来村
27	村民事業実施説明会(参加60名)	SB社松波亮成取締役、事業部長、肥田氏、シャープ社副本部長ほか来村
28	榛東村自然エネルギーの推進等に関する条例可決	
4/2	第2回八州高原メガソーラー発電所建設協議	SB社肥田氏、技術部マネージャー、SBM社、シャープ社多数来村
7/1	固定価格買取制度発効 ソーラー発電所運転開始並びに運転開始式実施予定	

工事スケジュール(予定)

	4月	5月	6月	7月	8月
土木基礎工事	基礎工事				●7/31現地撤収
機器据付工事	フェンス設置				
	架台工事				
電気工事	太陽電池取付				
	設備機器設置				
その他工事	電気配線・配管工事				
	計測監視設備工事				
試験調整	雑工事				
	撤収作業				
		使用前自主検査			●7/1運転開始

なつた。)自然エネルギーに取り組もうと考えた。固定価格買取制度が始まる7月1日に日本中でどれだけ再生可能エネルギーができるかが、今後の大きな流れになると思う。国内第1号案件として貴村を選定したのは、村と議会と一緒に担当者が積極的に誘致してくれたことによるもので感謝している。本日がスタートであり、7月1日に向けて東電渋川支社のご協力もいただきながら進めていきたい。」と語られました。

SB社事業企画部マネージャー肥田直人氏(表紙写真真右)は、「榛東村とは5月より誘致のお話をいただいたが、当時は建設までは想定できなかった。この地で

20年間の事業となる、住民の方々に信頼のおける事業者でありたい。八州高原のメガソーラーは、大震災前の工法よりパネル数を多く設置することで朝晩の発電効率を上げる仕組みを予定している。」との思いを言葉にされました。

造成をお引き受けいただいた(株)佐藤建設工業の佐藤本位田代表取締役社長(表紙写真真左)も、「CO₂削減も標榜する弊社の機動力を駆使して榛東村が自然エネルギーで国内1番になれるなら取り組んだので、何が何でも成功させてもらいたい。」と語られました。

事業説明会では、シャープ株式会社ソーラーソリューション事業推進本部副

本部長の佐藤立哉氏が、会場の質問に対して、「お客様にはパネルは25年持つとご案内しているが、発電実績は40年を超えおり自信がある。本事業の20年間だけでなく良好な発電が継続できるよう工事にあたりたい。」と力強く答えられました。

萩原副村長は、「村の施設の電気料金を年間1億3千万円程度支払っているが、将来、このメガソーラー資産が利用出来るようになれば大変貴重な施設になると思っている。事業者の皆様感謝したい。」と結んだ。

説明会などで村民の方より多くの声をいただいています。次号以降に掲載いたします。

○メガソーラーとは?

1 MW(1000キロワット)以上の大規模の太陽光発電施設を指し、太陽光のエネルギーを直接的に電力に変換する再生可能エネルギーとして注目されています。